【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公表番号】特表2010-520434(P2010-520434A)
【公表日】平成22年6月10日(2010.6.10)
【年通号数】公開・登録公報2010-023
【出願番号】特願2009-552295(P2009-552295)
【国際特許分類】
Ｆ１７Ｃ　7/00　(2006.01)
Ｆ１７Ｃ　13/00　(2006.01)
Ｃ０１Ｂ　3/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　8/06　(2006.01)
Ｈ０１Ｍ　8/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１７Ｃ　7/00　Ａ
Ｆ１７Ｃ　13/00　３０１Ｃ
Ｃ０１Ｂ　3/00　Ｚ
Ｈ０１Ｍ　8/06　Ｒ
Ｈ０１Ｍ　8/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年4月22日(2011.4.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
高圧なガス用の貯蔵装置であって、
補給貯蔵所にて高圧下で補給されるタンクと、
該タンク内を循環し、搭載された状態の該タンクの補給に伴って発生する圧縮熱を吸収する熱吸収媒体であって、前記吸収された熱は、該タンクの外部に配置される外部熱交換器までの循環システム中に導かれ、それにより前記吸収された熱が該タンクから該タンクの外部の環境へ排熱される熱吸収媒体と、
高圧ガス貯蔵所の補給ラインとタンクとの間の該ガスの流れ経路内に配置され、該循環システムに動力を供給する排出ポンプと、
ことを特徴とする貯蔵装置。
【請求項２】
請求項１に記載の貯蔵装置であって、
該排出ポンプは、該循環システムへの該ガスの補給ガス入口から該外部熱交換器までの閉回路の導管システムに接続されるベンチュリポンプであることを特徴とする貯蔵装置。
【請求項３】
請求項１に記載の貯蔵装置であって、
該循環システムは、該循環システムの熱吸収媒体を冷却する補助送風器システムを具備していることを特徴とする貯蔵装置。
【請求項４】
請求項１に記載の貯蔵装置であって、
該外部熱交換器は、ラジエターと、ヒートシンクと、冷却媒体とのうちの少なくとも１

つから選択されていることを特徴とする貯蔵装置。
【請求項５】
請求項４に記載の貯蔵装置であって、
該外部熱交換器は、該補助送風器システムと熱的に相互結合されていることを特徴とする貯蔵装置。
【請求項６】
請求項１に記載の貯蔵装置であって、
該外部熱交換器は、第１の閉ループガス流れ回路を具備し、該第１の閉ループガス流れ回路は、循環冷却流体を有する車両の動力プラントラジエターシステムと熱的に相互に結合されているラジエターを通過することを特徴とする貯蔵装置。
【請求項７】
請求項６に記載の貯蔵装置であって、
該閉ループ流体回路は熱を吸収するための手段を具備し、該手段は該タンク内の流体循環回路のループの周囲を本質的に取り囲む熱吸収体を備え、該熱吸収体によって吸収された熱は、該外部ラジエターまでの該流体循環回路に輸送され、その後、該熱は排熱され、該流体はタンクの内部に再循環されることを特徴とする貯蔵装置。
【請求項８】
請求項１に記載の貯蔵装置であって、該熱交換器装置は、
車両のフレーム組立体上の排熱要素の構成と、
該排熱要素に近接した車両のフレーム組立体の内部にある流体循環ループと、
を備えるラジエターであることを特徴とする貯蔵装置。
【請求項９】
請求項１に記載の貯蔵装置であって、
補給貯蔵所にて高圧下で補給される、複数の搭載された状態の搭載タンクと、
該複数のタンクの各々に対する出口バルブは補給中では閉止され、該複数のタンクの各々に対する入口バルブは前記熱吸収媒体が還流し該タンクが補給されるときに開閉されることを特徴とする貯蔵装置。
【請求項１０】
請求項９に記載の貯蔵装置であって、該複数の搭載された状態の搭載タンクの充填順序は、
すべてのタンクは同時に平行して充填され、又は、
すべてのタンクは実質的に、一度に１つずつ別々に順番に充填される、
ことを特徴とする貯蔵装置。
【請求項１１】
請求項１に記載の貯蔵装置であって、該熱吸収媒体は燃料ガスであって、該排出ポンプは、該タンクへの吸引入口と出口とを有するベンチュリジェット装置を構成し、該圧縮熱は該循環システムを駆動することを特徴とする貯蔵装置。